



武蔵小金井駅が 100周年を迎えます

<これまでの変遷>

① 開業当初～高度成長期

1924年(大正13年)

観桜のための仮乗降場として開設



1926年(大正15年)

武蔵小金井駅に昇格

★駅周辺に商店街が形成され始め、市の中心商業地として発展の基礎を築きました。



小金井市の玄関口の1つとして、長年小金井市を見守ってきた、JR武蔵小金井駅が2026年(令和8年)1月15日で100周年を迎えます。これまでの駅やまちが歩んできた道のりを振り返り、この節目の年をお祝いしましょう！

問企画政策課企画政策係 (☎042-387-9800)

1959年(昭和34年)

構内に武蔵小金井電車区が完成

車両基地がある駅として機能しました

★1960年代、駅北口に大型商業施設が進出し、商業の中心地としての地位を確立しました。



② 中央線連続立体交差事業(高架化)と駅舎の大きな変化

★長年にわたり、駅周辺には「開かずの踏切」と呼ばれる問題があり、南北の交通を分断していました。これを解消し、街の一体化を図るために、中央線の連続立体交差事業(高架化)が進められました。



2007年(平成19年)7月

下り線が高架化



2009年(平成21年)12月

上り線が高架化され、駅は現在の高架駅舎となりました。これにより、「開かずの踏切」が解消され、駅南北の往来が円滑になりました



2015年(平成27年)

高架下に商業施設が開業

③ 街(駅周辺)の大きな変化

★高架化と並行して、特に南口で大規模な再開発事業が行われ、それまでの昭和の街並みから、広場を備えた現代的な景観へと劇的に変化しました。

交通広場(駅前ロータリー)の整備

従前の約9倍に広がり、安全で便利な交通結節点となりました



再開発事業による駅周辺の変化

再開発ビル群「アクウェル武蔵小金井」が誕生し、市民交流センターなども整備され、地域の賑わいと交流の場が創出されました

南口第2地区再開発事業により「SOCOLA武蔵小金井クロス」が開業し、利便性が一層向上しました



お祝いイベントのお知らせ

時 1月17日(土)、18日(日)午前10時～午後3時
所 JR武蔵小金井駅、nonowa武蔵小金井など

- ▷ 「地域とともに100周年」武蔵小金井駅や駅周辺の写真ポスター展示、記念メッセージ展示
- ▷ こども駅長制服記念撮影
- ▷ 昔の駅員さん体験(きっぷ入鉄体験)
- ▷ スタンプラリー
- ▷ ミニ新幹線乗車体験(17日のみ・有料)

商業施設での感謝祭やフォトスポットなどもありますので、ぜひ、お越しください。

